

年間指導計画

教科		科目		履修対象年次	単位数
理科		生物基礎		2	2
科目担当者 西山恵子、斉藤康貴					
身に付けられる力		生物に関する基礎学力・探究力・科学的な見方や考え方・論理的考察力・分析力			
学期	月	授業 時数	単元名	学習活動	身に付けられる力
1 学 期	4	4	第1章 生物の特徴 生物の多様性と共通性 細胞とエネルギー	①生物や自然に関心や探究心をもち、時にはICT機器を利用しながら、具体的なイメージを持つ。 ②生物についての基本的な概念・形質や働きを理解し、知識を身に付ける。 ③生物の学習を通じ、問題を見出し、生命現象を実証的、論理的に考えたり、分析的、総合的に考察したりして、問題を解決し、科学的に判断できる。	1 生物や自然に対する探究力 2 科学的思考力・判断力 3 論理的な思考力 4 データ分析力 5 生命現象についての基本的な概念の理解と知識
	5	8			
	6	8	第2章 遺伝子とその働き 遺伝子の本体の構造 遺伝情報の複製と分配		
	7	4			
	8	0			
2 学 期	9	6	第2章 遺伝子とその働き 遺伝情報とタンパク質合成	①生物や自然に関心や探究心をもち、時にはICT機器を利用しながら、具体的なイメージを持つ。 ②生物についての基本的な概念・形質や働きを理解し、知識を身に付ける。 ③生物の学習を通じ、問題を見出し、生命現象を実証的、論理的に考えたり、分析的、総合的に考察したりして、問題を解決し、科学的に判断できる。	1 生物や自然に対する探究力 2 科学的思考力・判断力 3 論理的な思考力 4 データ分析力 5 生命現象についての基本的な概念の理解と知識
	10	8			
	11	8	第3章 生物の体内環境の維持 体液とその働き 体内環境の維持 生体防御		
	12	6			
3 学 期	1	6	第4章 植生と多様性と分布 植生と遷移 バイオームとその分布	①生物や自然に関心や探究心をもち、時にはICT機器を利用しながら、具体的なイメージを持つ。 ②生物についての基本的な概念・形質や働きを理解し、知識を身に付ける。 ③生物の学習を通じ、問題を見出し、生命現象を実証的、論理的に考えたり、分析的、総合的に考察したりして、問題を解決し、科学的に判断できる。	1 生物や自然に対する探究力 2 科学的思考力・判断力 3 論理的な思考力 4 データ分析力 5 生命現象についての基本的な概念の理解と知識
	2	8			
	3	4	第5章 生態系とその保全 生態系 生態系の場バランスと保全		
合計時数		70			
教科書 副教材		『生物基礎』（第一学習社） スクエア最新図説生物neo(第一学習社) ・ ニューステップアップ生物基礎（東京書籍）			
評価の観点・方法		上記の観点により、定期考査・小テスト等の試験成績、授業の取り組み（授業態度、課題の提出状況、質問や回答状況等）等を用いて、「学習意欲・姿勢」「習得の程度」「科学的思考力」等を総合的に評価します。			
履修上の注意点		毎回の予習復習は必須です。			
特記事項等		なし			